



都市緑地に炭素を貯める！学問の垣根を超えた温暖化に対する取り組み

園芸環境科学講座



都市緑地の管理で発生する植物性の廃棄物（剪定枝・雑草ごみなど）の多くは、現在、焼却処分されています。捨てずにチップ材・炭化物・堆肥などに变化させ、緑地や農地で使用すれば、『炭素貯留』につながり、大気中の二酸化炭素の濃度上昇抑制効果がうまれるはずです。

本プロジェクトでは、チップ・炭・堆肥の使用による炭素貯留量の評価、土壌理化学性や土壌微生物（共生微生物などの有用微生物および病原性微生物）への影響調査、さらに炭素貯留による付加価値の探索を行います。また、市民の皆さんと最新知見を共有し、松戸キャンパスを通して、炭素貯留による温暖化防止策を広く伝えることを目的にしています。



なるべく焼却せず活用！



炭化物
Biochar



市民協働
—チップ材の無料頒布—

